

事業評価個票（事業実施：令和6年度）

（様式1）

事業名	高付加価値な観光地づくり推進事業費		開始/終了(予定)年度	令和6 / 令和8				
部局・担当課名	観光文化スポーツ部 観光交流拡大課							
総合発展計画実施計画の位置付け	政策の柱、政策	[政策の柱3] 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化 [政策3] 国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化						
	施策	[施策2] 戦略的な誘客促進						
事業の目的	目標指標	観光消費額 2,600億円（令和6年度）						
	本県において付加価値の高い観光地づくりを推進し、訪日旅行1回あたりの着地消費額100万円以上/人の高付加価値外国人旅行者層を取り込むとともに、訪日旅行者全体への波及につなげ、観光消費額の拡大を図るもの。							
事業概要（令和6年度の実施内容）	①観光コンテンツの作成及び売り込み 【目的】高付加価値旅行者層の誘客促進のため、以下によるコンテンツ作成や売り込みを実施 【実施事業】・地域が持つストーリー性を含めた「本物の価値」を提供できるコンテンツを地域DMO等と連携し4ブロックで作成 ・高付加価値旅行者層とコネクションのあるツアーオペレーターへの招請(1回) ②プロガイドの発掘・育成、外国人材の受け入れ機会の創出 【目的】高付加価値旅行者に対応できるプロガイドやホスピタリティ人材を確保するため、以下による人材創出・育成を図る 【実施事業】・プロガイドの発掘・育成のため、全国で活躍しているガイドを招請したセミナー等を1回開催 ・海外教育機関や人材派遣機関と県内宿泊施設とのマッチング商談会等を県内・国外各1回開催 ③宿の高付加価値化に向けた対応 【目的】高付加価値旅行者に対応できる宿泊施設数の拡大に向け、以下による県内宿泊施設関係者の機運醸成・ノウハウの習得を図る。 【実施事業】・高付加価値旅行者層受入の専門家を招請したセミナーを1回開催 ④高付加価値旅行者層向けの移動手段の検討 【目的】高付加価値旅行者層が求めるプライベート空間を確保した移動手段を検討するため、以下による実証事業を行い課題や対応策の洗い出しを行う。 【実施事業】・プライベートジェットや高級ハイヤー等を活用した招請ツアーを1回開催							
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 上記実施方法とする理由：①②③④民間事業者のノウハウを生かし効果的に取組みを進めるため。						
当初予算額（単位：千円）	予算見積書グループ名	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
	① 高付加価値旅行者から選ばれた観光地づくり推進事業	50,545						
	②							
	③							
	④							
	計	50,545	-	-	-	-		
財源内訳（単位：千円）	国庫支出金	24,027						
	県債							
	その他特定財源							
	一般財源	26,518						
	計	50,545	-	-	-	-		
活動指標		活動実績	単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①コンテンツ造成数	活動実績	件						
	当初見込み	件		4				
②ガイドセミナー及び人材マッチング商談会等開催数	活動実績	回						
	当初見込み	回		3				
③宿泊施設向けセミナー開催数	活動実績	回						
	当初見込み	回		1				
④移動手段検証ツアー実施数	活動実績	件						
	当初見込み	件		1				
成果指標（所管部局の分析）		成果実績	単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①②③④観光消費額（付加価値の高い観光地づくりの取組みを行うことで、高付加価値外国人旅行者などの取り込みを図り、観光消費額の増加に寄与する。）	目標値	億円		1,800	2,072	2,344		
	達成度	%						
①②③④外国人観光消費額単価（付加価値の高い観光地づくりの取組みを行うことで、高付加価値外国人旅行者などの取り込みを図り、外国人観光消費額単価の増加に寄与する。）	目標値	円		33,790	39,395	45,000		
	達成度	%						
		成果実績						
		目標値						
		達成度	%					
		成果実績						
		目標値						
		達成度	%					
現行「第2次おもてなし山形県観光計画」の実施期間が令和6年度までとなっている。令和6年度において次期計画の策定作業を進める中で、同計画の目標値として設定する「観光消費額」の見直しを検討することとしており、その結果、数値を変更する可能性がある。また、「外国人観光消費額単価」についても、上記観光計画の検討結果を踏まえて数値を変更する可能性がある。								
活動指標及び成果指標設定の考え方								
本事業の取組み状況は、コンテンツ造成数やセミナー、招請ツアー実施数で明らかになることから、活動指標には「コンテンツ造成数」や「セミナー等開催・実施数」を設定した。本事業の目的は、付加価値の高い観光地づくりを推進し、高付加価値外国人旅行者層を取り込むとともに、訪日旅行者全体への波及につなげ、観光消費額の拡大を図ることから、成果指標には「観光消費額」「外国人観光消費額単価」を設定した（本県の観光消費額等の状況と全国の状況を勘案して設定）。 なお、本県の観光消費額については「第2次おもてなし山形県観光計画（R2～R6）」の目標指標にも設定しており、令和6年度において次期観光計画の策定作業を進める中で、同計画の目標値として設定する「観光消費額」の見直しを検討することとしており、その結果、数値を変更する可能性がある。また、「外国人観光消費額単価」についても、上記観光計画の検討結果を踏まえて数値を変更する可能性がある。								

事業所管部局による評価・検証（令和 年 月）

項目	評価(ABC)	評価に関する説明	
事業の必要性		事業の目的が県民や社会のニーズを的確に反映し、成果目標の明確な達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業となっているか。また、市町村・民間等に委ねることができない事業なのか。	課題
事業の効率性		支出先の選定や受益者との負担関係は妥当であるか。事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。また、類似事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。	
事業の有効性（達成度）		活動実績は見込みに見合ったものであるか。また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。	今後の対応
		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	

（評価基準）「事業の必要性・事業の効率性 A:妥当性が高い/B:おおむね妥当である/C:妥当性が低い」

「事業の有効性（達成度） A:目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)/B:おおむね目標どりの成果、活動見込をおおむね達成(80%以上100%未満)/C:目標を下回る成果、活動見込を下回った(80%未満)」